

札幌市環境保全アドバイザー 派遣の様子

日時 令和5年10月10日（火）

場所 札幌エルプラザ 2階 環境研究室

主催 公益社団法人 札幌消費者協会

内容 講演

派遣アドバイザー 石塚 祐江

環境プラザから

今回は「持続可能な社会に向けて～身近な3Rを考える～」というテーマのもと講演が行われました。

「ごみ」ってなんですか？という斬新な切り口から講話が始まり、自分にとっての「ごみ」と他者にとっての「ごみ」は必ずしも一致するものではないと気づかされました。自分にとってごみと思っていたものでも、他者にとっては活用できるものであったりするのです。

また、リサイクルは環境に良いことではあるが、ごみそのものを減らす必要があることや、大きなコミュニティを形成するとそれだけエネルギーを消費するため、地域での小規模な活動が大切なこと、そして1人が100点を目指すより、100人が60点を目指す行動について等、実践に繋がる2時間の講演となりました。

主催者の声

自然連続時事講座の共通テーマは「次世代につなぐ！！地球環境」、本講座のテーマを「持続可能な社会に向けて～身近な3Rを考える～」として石塚先生に講演していただきました。

地球環境を守り、緑の地球を次世代につなぐために私たちが何をしなければならないか？ごみと思うものも人によっては活用できるし、資源にもなる。リデュース・リユース・リサイクルの3Rのポイントをわかりやすくお話しされ、ごみは私たちががつくっているものと認識し、市民1人ひとりがごみについて考え、小さなことから実行することの大切さを学び、参加者もごみを減らすことを考えるきっかけになったものと期待されます。

